（参考様式１）

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の目につく場所に理念を掲示し意識付けをしている。職員は理念に基づき利用者の状況に応じたケアや自立支援に努めている。利用者に居心地の良い生活環境を提供し、家族や来客者にも気軽に来てもらえるよう心掛けている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、利用者と地域との交流は再開に至っていない。事業所の存在を知ってもらうことも目的に、事業所の会報誌や、お知らせなどを、近隣の住宅に配布することをした。町内会の一切清掃には職員が参加している。	地域とのつながりが最も必要なのは災害時と考えられる。避難場所や災害時の訓練の場を提供することも地域貢献にもなる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2 カ月に 1 回のペースで開催。利用者や職員、行事、事故状況などの報告をしており、情報交換や、アドバイスを受けることができている。	充分にできている。今後も同様に開催していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらっている。	地域のとりくみの情報をもらったり、事業所の状況などの情報を共有している懸念される災害対応について、市の防災担当者からのアドバイスを今後もらうようしていきたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の事業所処遇部会で身体拘束、虐待委員が中心となり、拘束、虐待にならいよう、話し合い身体拘束をしないことはもちろん、より良いケアにつなげている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束、虐待委員が中心となり介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的行為を周知し個別の事例を検討する機会もあり、職員全体で理解できている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、虐待防止の研修を受けている。母体法人ので開催されている研修にも参加している。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月１回の処遇部会で虐待防止委員が中心となり、職員アンケートをとり、気になるケアについて話し合い、よりよいケアにつながる様に検討している。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護について、学ぶ機会は少なかった。今後理解し、学ぶ機会を設けたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約締結、解約、制度の改正、変更があった時には利用者家族に説明し理解、了承を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン策定時、電話連絡、面会時に家族からの要望、意見を聞くようにしている。又、利用者は日々のケアの中での不安、要望を職員に伝えることは出来ている。面会時にも御家族と話が出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で包括支援センターの職員に伝える機会になっている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、開催する処遇部会で施設長も参加し職員の意見を聞き、話し合い検討している。日常で話しやすい雰囲気をつくるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の職員との面談、及び人事考課を設け目標設定や、やりがいにつながるよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経験年数や特性に合った研修を受けられる体制があり、法人の内部研修及び外部研修に参加している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ過以降、他事業所と交流する機会がほぼ持てていない状態である。 外部研修に参加した際には他事業所の職員と交流することができた。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少人数の家庭的な雰囲気の中で利用者の生活に寄り添い、変化に対応できるよう信頼関係を築いている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、利用者はご家族との外出が原則禁止となったままで職員付き添う必要があり、自由な外出はできない状態である。	感染対応は法人の方針なので、できる範囲で対応していく。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時やケアプラン更新時等生活歴、本人の強み、思いを聞き取り、職員間で共有し把握するよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にカンファレンスを開催し本人、ご家族に意向を聞き取り、介護計画について検討している。	担当者会の前、もしくは後にご家族に連絡をとり、状態報告や施設や介護計画等への要望をうかがうようにしている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対応が緩和されご家族が施設内に入ることができてきたので、今後は担当者会に参加してもらえるように声をかけていく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の、変化を個別に記録し、職員間で情報を共有するように申し送りを行い、見直すところは話し合って介護計画に活かしている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物、外来受診の支援ができている。	家族との外出が原則できないため、外来受診に対応せざるを得ず、そうなっているという面もあるが、家族からは受診に対応してもらえてありがたいという声もある。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や、ドライブや外食、催しに参加する等、特別ではなくとも地域住民として当たり前に使える資源を活用できるように支援している。	感染予防から、交流が難しい状況は続いているが、現在できていることは感染状況をみながら継続していく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にかかりつけの医療機関を聞き取り、家族、利用者の希望があれば職員同行するようにしている。又法人の協力病院から月 2 回の往診、訪問看護ステーション週1回往診、歯科往診、協力病院へのリハビリ週1回、状態変化あればその都度、報告し受診するようにしている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の入退院時には家族及び医療機関のケースワーカーや看護師と情報共有し、入院中の状態や経過を確認し退院後についても本人家族の意向や相談、医療機関より助言を聞くようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に介護度が重度化し、医療が必要になった場合、同法人の特養や、医療機関へ入所できることを伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体が医療法人であり、強みになっている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に急変時、事故の対応についてシュミレーション研修を行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災訓練は行っているがコロナ禍以降、地域との交流が気薄になり災害時の協力体制が十分とれていない。	今後、地域の防災会や、高知市の地域防災対策課と連携を取り、災害に備えるようにしていく。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の処遇部会で身体拘束、虐待委員が中心となり、不適切なケアについての勉強会や、人格を尊重した言葉かけをするように話し合いをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大まかなスケジュールは決まっているが、入浴日の変更、朝の離床時間など利用者の希望に添えるよう支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月数回は利用者希望の献立を取り入れるようにして楽しんでもらっている。正月やクリスマス等には皿鉢や盛り合わせをとって、目でも楽しんでもらえている。食事の準備、片付けは出来る利用者と一緒に手伝ってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量、水分量を記録し、少ない場合は嗜好品を聞いて、代替品や栄養補助食品などで対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でできるところはしてもらい、出来ないところは介助している。義歯は夕食後に預かり洗浄液につけ、清潔保持している。協力歯科にも治療やアドバイスをしてもらっている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを記録し、可能な限りオムツにならないようにトイレ、ポータブルトイレでの排泄が出来るように支援している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の体調や気分に合わせて入浴日をずらす等の、対応をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息し、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の体調、習慣を尊重して自由に休息,をとれるようにしている。又、寝具も週1回、汚染時にはその都度洗濯をして安眠をとれるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬マニュアルに沿って職員が服薬介助している。利用者の状態の変化あれば、かかりつけの医師、訪問看護に相談し指示を受けている。薬の変更時には薬局から丁寧な説明があり、職員間で共有している。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A.　充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活習慣を活かし、洗濯物たたみ、音楽体操、ホーム内の行事、誕生日会、運動会、等を開催し懐かしい昔話、笑顔を引き出せるよう努めている。	利用者ごとの生活歴や強み、ニーズなども考慮して企画ができている。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対応が緩和され職員との外出の頻度は前年に比べ増えてきており利用者からも喜びの声が聴かれている。しかし、ご家族との外出がまだ禁止されているため自由に外出はできていない。	制限がある中で、充分にやっている。外出や行事の写真を撮ってかざっており、家族にもわかりやすい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者がお金を持って自分で使うことはないが、日用品、嗜好品などは利用者に聞いて職員が買い物をしている。金銭はホームで預かっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者から希望があれば、手紙、電話の支援をする。家族から電話がある時は、話が出来るようにしている。携帯電話を持っている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物が老朽化しており、修繕しながら安全に配慮して段差などには手すりを追加するなどして対応している。又、季節感の分かるような、壁画、行事の写真なども展示している。座席の配置も、気の合う利用者と過ごせるように配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分から意思をはっきり伝えることができる方もいるが、うまく伝えられない方もいる。表情や行動などから本人の思いをくみ取る様にしている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話や家族の話より昔からの生活習慣、生活歴の情報を職員間で共有して支援に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医の往診、月2回、訪問看護師健康チェック、週1回、必要時歯科往診、受診の支援をして、情報を共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本ベースは施設時間に合わせた生活であるが、出来るだけ本人のペースに合わせるよう配慮している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの持ち物、家族の写真などを部屋に飾って安心できる環境になるよう支援している。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防対応が緩和され、職員との外出、買い物に出かけることができている。家族との外出には今も制限がある。	外出できるようになり、利用者の満足度は高まっている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、習慣などから、出来ることを検討して実行している。できなくなれば、他の出来ることを職員間で話し合い検討している。行事など楽しんでもらえるように工夫して行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	顔なじみのご利用者、職員との会話が笑顔につながっている。行事ではまた違った表情が見られ、活気につながっている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で途絶えてしまった地域との交流が再開には至っておらず、利用者と地域との交流は少ない。面会が居室内でできるようになり家族、や知人と個室内でゆっくり話すことができている。	地域自体の交流の場も減ってきている現状がある。直接個室で面会できるようになったことは、本人、家族ともに喜ばしい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の就労、一人暮らしが難しくなりホームに入所してこられる方々さまざまである。ここでの生活に感謝を伝えてくれる方がいる一方、認知症の影響で「帰りたい。」と言われることもある。職員は一番近くにいる介護職員として、様々な思いを受け止めて此処での生活がそれぞれの入居差にとってより良いものになるように努めていく。	運営推進会でいただく意見やアドバイスを活かし、利用者が安心してよりよい生活を送れるように努めていく。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	